

ときどき振り返ってみましょう! できているときは◎ だいたいできているときは○ あまりできていないときは× をつけてください

取り組み項目 (チェック項目)		チャレンジ日の結果	ふだんの行動	各項目の記入上の注意
風呂洗面	1 お風呂は続けて入り追い炊きを減らした(二酸化炭素排出削減量 240g/日、電気やガスの料金の削減 6,690 円/年)			1 お風呂をわかさなかった場合も◎
	2 温水洗浄便座は温度を低めに調節し、使わないときはフタをした(もしくは保温しなかった)(72g/日、2,030 円/年)			2 温水洗浄便座ではない場合も◎
	3 炊事・洗面用の給湯温度は 38℃以下にした (55g/日、1,540 円/年)			3
	4 お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめに止めた (82g/日、4,140 円/年)			4
	5 シャンプーや台所用洗剤などは使いすぎなかった (37g/日)			5
台所	6 冷蔵庫の温度設定を「弱」にした (60g/日、1,670 円/年)			6
	7 野菜などの食料品は旬のものや近場で作ったものを買った (地産地消) (120g/日)			7 買い物をしなかった場合も◎
	8 野菜の下ごしらえなど調理に電子レンジを活用した (120g/日、3,350 円/年)			8 料理をしなかった場合も◎
	9 炊飯ジャーは 4 時間以上の保温をしなかった(冷凍してレンジで暖めた方が省エネになる)(56g/日、1,570 円/年)			9
	10 ご飯やおかずを残さず食べた (460g/日)			10
洗濯	11 洗濯はまとめて行い、洗濯回数をへらした (14g/日、7,430 円/年)			11 洗濯をしなかった場合も◎
	12 衣類乾燥機を使わなかった (天日乾燥にした) (850g/日、23,700 円/年)			12 洗濯をしなかった場合も◎
ごみ	13 ビン・カン・ペットボトル・紙などの資源ごみは分別した (240g/日)			13
部屋	14 冷暖房の温度をゆるめに設定した (夏 28℃、冬 20℃の室温を目安に 無理はしない) (80g/日、2,250 円/年)			14 冷暖房しなかった場合も◎
	15 見ていないときはテレビを消した (16g/日、453 円/年)			15
	16 テレビやパソコンなどを使わない時は主電源を切り、待機時の消費電力を減らす努力をした(88g/日、2,460 円/年)			16
	17 使っていない部屋の照明は消した (17g/日、473 円/年)			17
	18 家族ができるだけいっしょの部屋ですごした (200g/日、5,530 円/年)			18 ひとり暮らしの場合も◎
	19 ふだんより 1 時間早く寝た (110g/日、3,070 円/年)		×	19 (「ふだん」については採点しません)
20 出かけるときや寝る前は 15 分程度早めに冷暖房を切った (29g/日、800 円/年)			20 冷暖房しなかった場合は◎	
外出	21 レジ袋をもらわなかった (56g/日)			21 買い物をしなかった場合も◎
	22 近くへ行くときは自動車を使わず、自転車や徒歩で行った (400g/日、9,060 円/年)			22 外出しなかった場合も◎
	23 遠くへ行くときは自家用車の利用を控え、公共交通機関を利用した (1,800g/日)			23 遠くに行かなかった場合も◎
	24 駐車や停車をするときはできるだけアイドリングストップした (180g/日、4,100 円/年)			24 自家用車に乗らなかった場合やエコカーは◎
	25 自動車を運転するときは急発進や急加速をしないでエコドライブを心がけた (1,200g/日、27,500 円/年)			25 自家用車に乗らなかった場合も◎

チェックシート記入と提出について

こんなふうに進めます!

①「ふだんの行動」欄を記入しましょう

左の取り組み項目について、あなたの家族のふだんの行動を確認しましょう。ふだんからできているときは◎、だいたいできているときは○、あまりできていないときは×を記入します。

②チャレンジ日に取り組みましょう

チャレンジ日に、朝起きてから寝るまで1日、家族みんなで左の取り組み項目にチャレンジしてみましょう。

③「チャレンジ日の結果」と「チャレンジした人の人数」を記入しましょう

「チャレンジ日の結果」欄に、できたときは◎、だいたいできたときは○、あまりできなかったときは×を記入します。紙面上部の人数欄に、一緒にチャレンジした人数(ご家族の人数)も記入してください。

④取り組みを採点してみましょう

◎は1つ4点、○は1つ2点、×は1つ0点として採点してみましょう。ふだんの日とチャレンジ日の点数の差が、がんばり分です。

⑤感想を記入しましょう

チャレンジしてみた感想や、日頃から心がけていることなど、紙面の下段の部分に記入してください。

⑥チェックシートを提出しましょう

シートを半分に切って、右側の「提出用」のページを「大津市環境政策課」まで提出してください(〒520-8575 大津市御陵町3-1)。「環境政策課あて」と明記した古封筒に入れてお近くの市民センターへご持参いただいてもかまいません。なお、団体でご参加いただいている場合はとりまとめご担当者様経由でご提出ください。(締め切り:9月末)

⑦結果のご報告

取り組みの結果を集計し、大津市地球温暖化防止活動推進センターのホームページに掲載します。

*効果値の算出根拠は、大津市、大津市地球温暖化防止活動推進センター、またはおおつ環境フォーラムのホームページをご覧ください。

0~39点

40~79点

80~100点



あなたの取り組みは何点が計算してみましょう!

◎の数

○の数

取り組みありがとうございました!

(◎の数×4点)+(○の数×2点) = 点数

エコライフデーの感想やあなたの環境の取り組みなどを書いてください。

大津市エコライフデー2020

チャレンジ日：2020年9月5日(土)に家族みんなで取り組みましょう

※8月末～9月上旬の間でご家族の都合の良い日に設定し取り組んでいただいても結構です。

「エコライフデー」ってなに？



「エコライフデー」は、まずは一日、各ご家庭で環境にやさしい取り組みを実施いただき、その結果をチェックシート(中面)に記載いただくことによって、実施効果を実感していただき、エコライフ意識の向上と定着を目指そうというものです。

エコライフデーの取り組み項目は、心配りだけで実施できますので、どなたでも実施していただくことができます。また、家族一緒に取り組む項目を設けることで、家庭の話題にさせていただくことも期待しています。

進め方は、中面右端の「チェックシート記入と提出について」に記載しています。

なぜ「エコライフデー」なの？

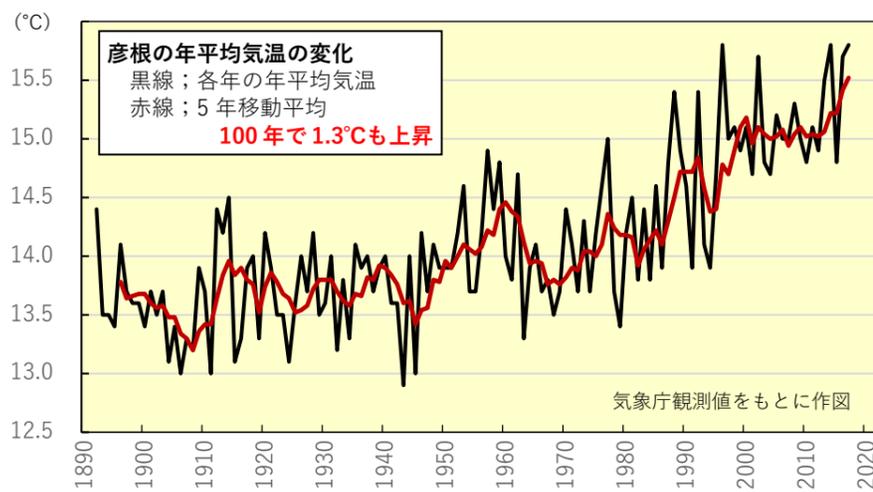
世界の平均気温が徐々に高くなる「地球温暖化」が進んでいます。

地球温暖化は、人間が電気やガスを使ったり自動車を運転したりすることで、石油や石炭など地中に閉じ込められていた炭素を燃やして温室効果ガス(おもに二酸化炭素)を大気中に大量に排出しているために進んでいるのです。

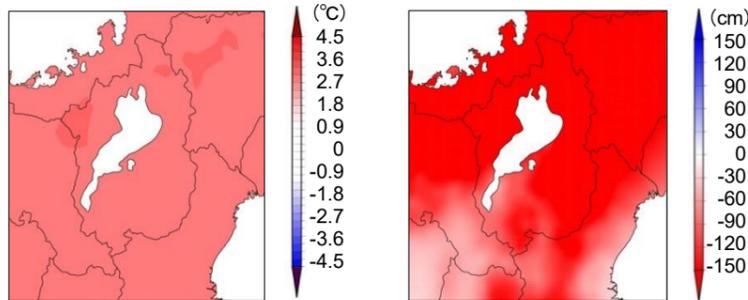
このまま何も対策をしないで二酸化炭素を出し続けると21世紀末の世界の平均気温は4.8℃も上昇すると予測されています。

温暖化を防ぐためには電気やガスなどのエネルギーを無駄に使わないことが大切です。産業部門では省エネが進み、温室効果ガスの排出量は1990年に比べても着実に減っていますが、家庭からは減るどころかかえって増えています。一人ひとりが省エネ意識を持って日々過ごすことが大切なのです。

チャレンジ日には、家族みんなでエコライフに取り組みましょう。

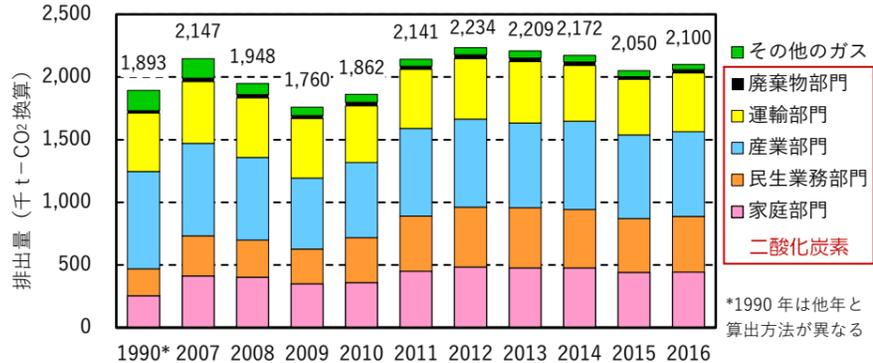


今後約100年の滋賀県の年平均気温(左)と年降雪量(右)の変化



出典：おおつ環境フォーラム「フォーラム通信第12号」

大津市からの温室効果ガス排出量



「大津市の環境」(平成23～令和元年度版)をもとに作図

大津市地球温暖化防止活動推進センター

※当事業は、大津市の委託により大津市地球温暖化防止活動推進センターが実施しています。

わたしにもできる地球温暖化防止!

「地球温暖化」って悪いこと？

温暖化が進むと、被害の出るような干ばつや洪水、暴風雨などが起こりやすくなるほか、農作物の品質が悪くなったり不作になったりします。また、熱帯害虫の生息域が広がりマラリアやデング熱などの感染症が日本でも頻発するようになる

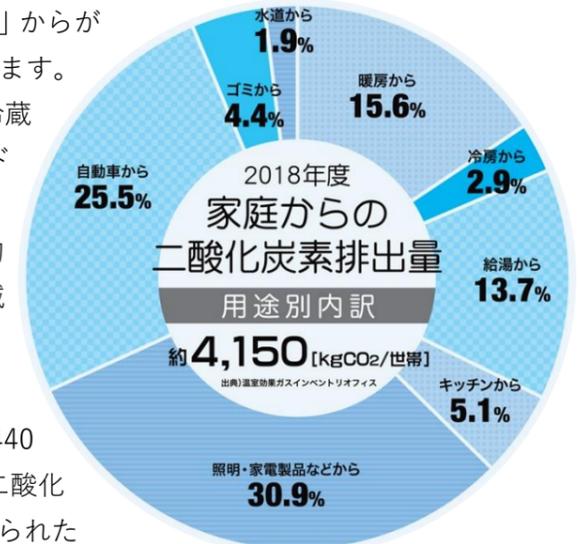


危険があります。桜は寒い時期がないときれいに咲かないため、お花見が今のように楽しめなくなるかもしれません。琵琶湖の深いところでは、酸素がいきわたらなくなって生き物が住めなくなってしまいます。

家庭でたくさん二酸化炭素を出しているのは何？

家庭からの二酸化炭素排出は「照明・家電製品」「自動車」からとびぬけて多く、次いで「暖房」や「給湯」が多くなっています。白熱電球や蛍光灯をLED電球に交換したり、エアコンや冷蔵庫を省エネ型にしたり、買い替える自動車をハイブリッド車にするなどは、効果が大きい対策方法です。

新電力への切り替えや深夜電力の利用は電気料金の節約になったとしても、それだけでは温室効果ガスの排出削減にはならないことに注意が必要です。



全国地球温暖化防止活動推進センターHPより

エコライフデーの結果はどうだったの？

2019年度、小学生版を含む夏冬の合計で1,580世帯の3,440人がエコライフデーに取り組んでいただき、削減された二酸化炭素排出量は6,669kgでした。取り組まれた方々から寄せられたコメントの一部を抜粋して紹介します。

◇少しの意識でこんなにもエコになるのだと気づきました。家族ができるだけ一緒にすごす、残さずにご飯を食べるなどもエコ活動になるのだと気づかされました。

◇結果は「もう少し環境の事を考えてね」でした。家電製品はエコになっているのに使い方も大事ですね。省エネに努力しようと思います。

◇今年は大きな台風や激しく降り続く雨などで大きな災害があり、地球温暖化を身近に感じました。このような災害が少なくなるように、エコライフを今よりも多く取り組もうと思いました。

★地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」にご賛同をお願いします★

2015年、温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2℃未満にするため、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。日本は、2030年に温室効果ガス排出量を2013年度比26%削減する目標を掲げています。

COOL CHOICEは、この目標達成のために、省エネ低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組です。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」にご賛同をお願いいたします。COOL CHOICE 賛同登録は大津市地球温暖化防止活動推進センターへ <http://otsu.ondanka.net/> の「COOL CHOICE 賛同」をクリック



未来のために、いま選ぼう。

